

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年9月11日

【評価実施概要】

事業所番号	2774600429
法人名	医療法人 養心会
事業所名	グループホーム第2ひだまりの家
所在地	柏原市旭ヶ丘4丁目8-3 (電話) 072-977-2842
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 8月 29日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 8月 1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	23人	常勤	18人, 非常勤 5人, 常勤換算 19.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	約17,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 500円
	夕食	500円	おやつ 150円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 19年 7月 1日現在)

利用者人数	25名	男性	6名	女性	19名
要介護1	4名	要介護2	9名		
要介護3	9名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 82歳	最低	66歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国分病院、中西医院、山根歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域に定着した精神科系の医療法人が運営するグループホームで、デイサービスを併設しています。理念として「認知症の状態にあっても、一人の人としてその人格を認め、その意思を尊重して、個々に有する能力に応じた自立した日常生活を支援すること」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らせるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。併設のデイサービスに常駐する看護師が母体の病院と連携してサポートすることが利用者と家族に安心感を与えています。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価の指摘事項についての改善が進んでいます。介護計画は家族の意見を聞きながら作成しています。プライバシー保護のため、共有空間に面するトイレの扉の取り付け準備が進んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、リーダーが中心になって案を作り、全職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の会議メンバーについては市の協力のもとで選び、近々開催する予定となっています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価の結果の説明、今後の課題について報告し、地域との相互交流についても話し合う予定です。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が訪問する機会が多く、面会時には利用者の生活ぶりや健康状態を報告しています。毎月「陽だまりだより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、ご意見箱を設置して家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 同じ敷地内にある法人のテニスコートを地域の人に解放したり、地元のお祭りの「だんじり」巡回時に休憩所を提供したり、中学生の体験学習を受入れたり、歌体操のボランティアを受け入れています。隣のぶどう園でぶどう狩りをさせてもらったり、小学校の藤棚観賞や地元の盆踊りにも出かけたりして地元の人々との交流に努めています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「認知症の状態にあっても、一人の人としてその人格を認め、その意思を尊重して、個々に有する能力に応じた自立した日常生活を支援すること」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らせるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。採用時研修や月例のミーティングで、管理者とリーダー、職員は理念を共有するべく話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	同じ敷地内にある法人のテニスコートを地域の人に解放したり、地元のお祭りの「だんじり」巡回時に休憩所を提供したり、中学生の体験学習を受け入れたり、歌体操のボランティアを受け入れています。隣のぶどう園でぶどう狩りをさせてもらったり、小学校の藤棚観賞や地元の盆踊りにも出かける等して地元の人々との交流に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の指摘事項についての改善が進んでいます。自己評価は、リーダーが中心になって案を作り、全職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の会議メンバーは柏原市の協力のもとで選び、近々開催を予定しています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価の結果の説明、今後の課題について報告し、地域との相互交流についても話し合う予定です。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	母体法人は当初のグループホームのモデル事業に参加しており、管理者と行政との意見交換や相談の機会が多く、サービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問する機会は多く、面会時には利用者の生活ぶりや健康状態を報告しています。毎月「陽だまりだより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。預かり金の制度はなく、物品は事前に家族の承諾を得て購入し、立て替払いをしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、ご意見箱も設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はほとんどなく、利用者は馴染みの管理者や職員による支援を受けています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に対する取り組みは熱心で、職員の希望に応じて外部研修に参加させるとともに、月1回各ユニットが輪番制でテーマを自主的に決め、進行と記録を行う勉強会を実施しています。外部研修の伝達研修もここで実施されています。採用時研修も行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は地域のグループホームからの見学を受け入れています。大阪府認知症高齢者グループホーム協議会に参加するべく申し込みの準備中です。また市の担当者に地域のグループホーム事業者の相互の交流や意見交換会を実施するよう要請しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の家庭訪問やホームの見学を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除いた上で入居し、安心してサービスを受けられるようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	リーダーは利用者との間に「壁がない」関係を作ることに努力し、利用者が孤立することなく安心して日々の生活を送れるよう、それぞれが得意なことや仕事を持ち、ホーム内で役割を持って生き活きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に添い、生き活きと生活を楽しめるように利用者の生活を支援しています。司会をしたり号令をかけたりするのが好きな利用者、特別に掃除が好きな利用者など暮らし方への思いを發揮しています。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の現在の暮らしや、心身の状況からアセスメントを行い、医師や看護師の意見、利用者や家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は定期的には3ヶ月毎に行い、状態の変化がある時はその都度見直しをすることになっています。しかし、介護計画上の援助項目内容と連動しながら定期的にモニタリングを行い、利用者や家族の意向を聞き、カンファレンスを行って介護計画の見直しをするという業務の流れが確立されていません。</p>	○	<p>介護計画の見直しにあたっては、実施した援助の結果を項目毎に定期的にモニタリングし、利用者や家族の意向を聞き、全職員でカンファレンスを行って介護計画の見直しをすることが求められます。また生活歴についても、職員が毎日のケアの中で家族や利用者から得た気づきを確実に記録し追加していくことが望まれます。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	併設のデイサービスに常駐す る看護師が母体の病院と連携 しながら利用者の状態に合わ せて必要な看護を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	希望により以前からのかかり つけ医師（医療機関）に引き 続き医療を受けている利用者 もあり、必要により職員が通 院介助をしています。母体病 院と連携し夜間や急変時の対 応についての体制整備も整っ ています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	現在対象となる利用者はいま せんが、その時期がくればホ ームの指針として看取りを実 施する方針です。利用者・家 族と医師との話し合いや、利 用者・家族とホームとの話し 合いを行い、医師の助言と指 導により対応していく予定で す。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。前回外部評価で指摘があったトイレ入口に扉がないことについては改善の検討を終え、工事の準備中です。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。食事を始める時間についても、早くしたい利用者や、遅くしたい利用者等それぞれの希望にそって支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の希望を聞きながら作った献立表に添い、食材の手配、週1回の買物、下ごしらえ、調理、後片付けに至る一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。昼食のみ併設のデイサービスから取り寄せています。ホームの菜園で収穫した野菜や果物が食卓にのる場合もあります。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は週2回ゆっくり寛いだ入浴ができています。予備日を設けていて、希望すれば週3回の入浴もできますが一部の利用者に限られています。	○	利用者は週に3回は入浴ができるよう、また希望すれば毎日でも入浴できるように支援することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一日の生活の中で、家事に役割を見つけている女性利用者、司会をしたり号令をかけたりするのが好きな利用者、特別に掃除の好きな利用者、廊下をふいたり洗濯物を取り入れに行く利用者等それぞれの役割があります。また週に2日カラオケや将棋を楽しんだり、河内音頭を踊る等して日々の生活を楽しんでいきます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の周辺の散歩や週1回の買物、地域の祭りや季節毎の花見、近隣地域の大衆演劇の観劇や、河内音頭の盆踊りの会にも出かけ楽しんでいきます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の時間帯は玄関ドアやフロアのドアに鍵はかかっていません。職員の見守りで利用者は自由に外出ができるようになっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、年2回消防署の指導で消防避難訓練を実施しています。食料と水の備蓄については冷蔵庫や冷凍庫、収納庫に在庫があり、最低限の量は確保しています。非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成しておくことが望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量について記録をとっています。栄養バランスについては併設のデイサービスの調理師と栄養士からアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物周辺には広い庭園や菜園があり、季節毎に花や果実のなる木が植えられています。玄関周りにも季節の花、植栽があり、観葉植物、装飾品や絵画も飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームは広くゆったりとして、テレビの前にはソファや椅子が置かれ居場所も確保されています。全体として生活感のある落ち着いた雰囲気になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が持ち込んだベッド、タンス、収納ケース、ソファ、椅子、飾り棚、鏡台、仏壇、装飾品、家族の写真、テレビ、ラジオ、使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。居室の入口には暖簾がかかっています。		